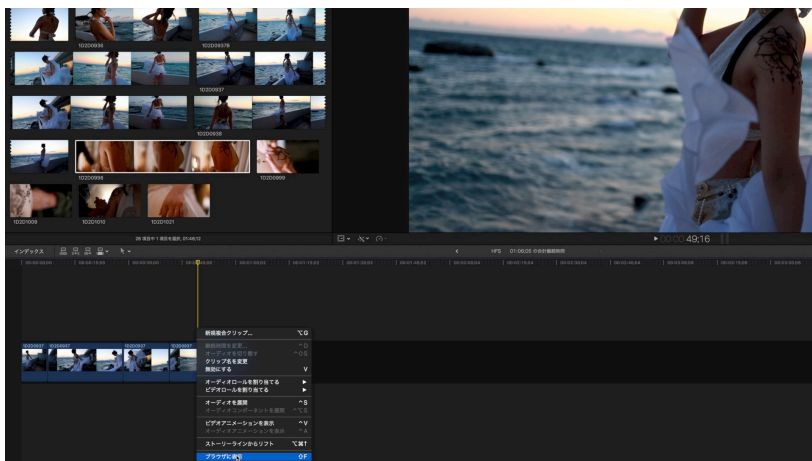


# Final Cut Pro Xで編集中の動画クリップをPhotoshopで色補正、LUTを作成してFinal Cut Pro XでそのLUTを適用する手順。

1 Final Cut Pro X から目的の動画クリップをPhotoshopに送る。

1-1 Final Cut Pro Xのタイムラインで目的のクリップを選択。「ブラウザに表示」

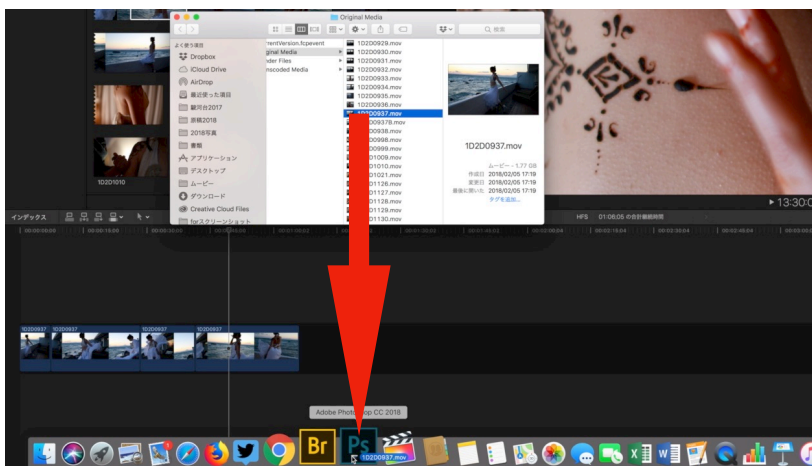


1-2 ブラウザでクリップがマークされるので、それを「Finderで表示」する。



1-3 ファインダーで表示された該当クリップをPhotoshopにドラッグ&ドロップ

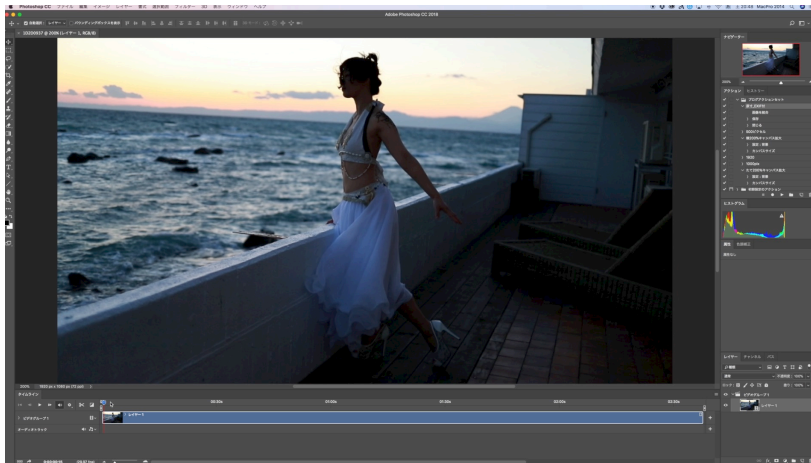
\*Final Cut Pro Xに読み込まれたクリップはパッケージの内部にあるため、普通にファインダーからは選べません。



## 2 Photoshopでの色補正

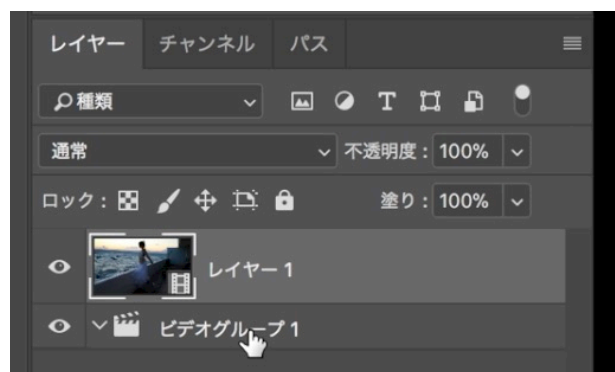
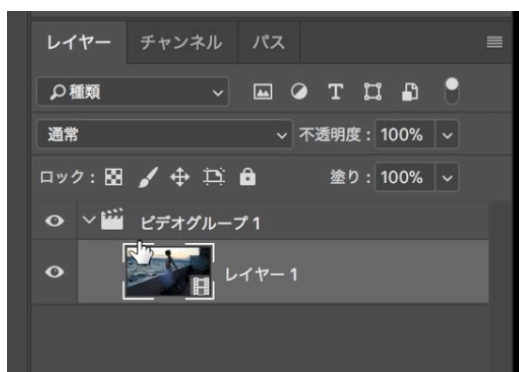
### 2-1 Photoshopで該当クリップが開かれる。

\*Final Cut Pro Xで短く編集していてもクリップ全体が開かれます。



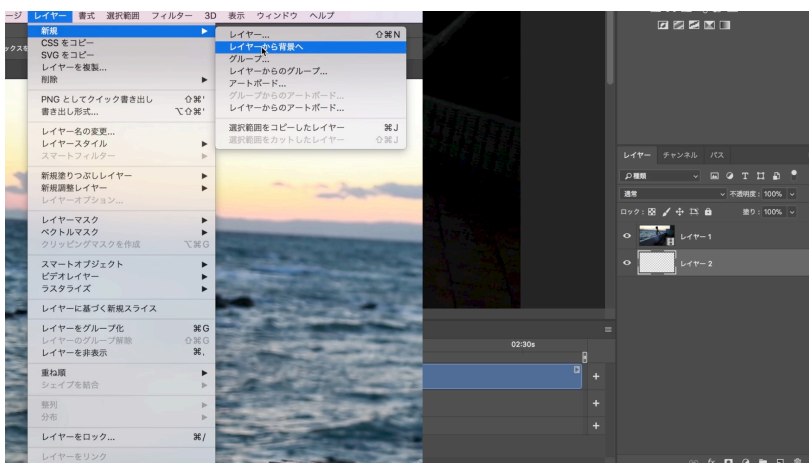
### 2-1 動画レイヤーをビデオグループの外に出す。

### 2-2 カラになったビデオグループを削除。



### 2-3 動画レイヤーの下に新規レイヤーを作成。

### 2-4 そのレイヤーを背景に変換（レイヤー>レイヤーから背景へ）。



2-5 Photoshopの調整レイヤーを用いて色補正を行う。

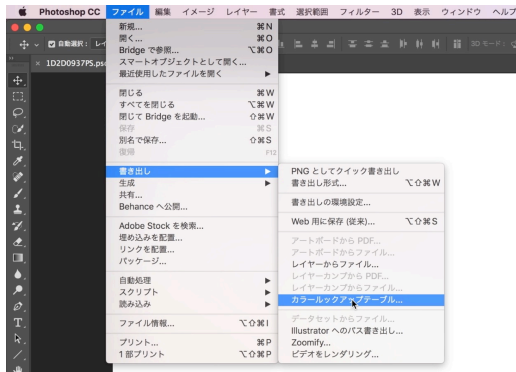
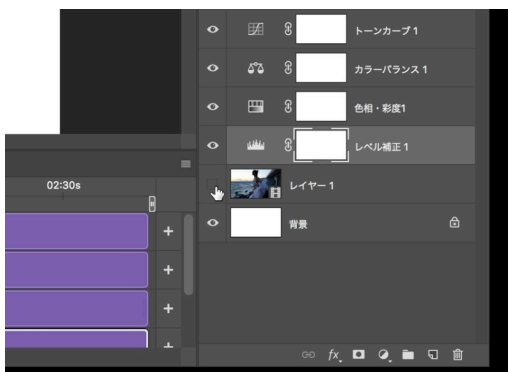
\*多重に調整レイヤーかけてもOK。調整レイヤー以外のフィルター等は使わないこと。



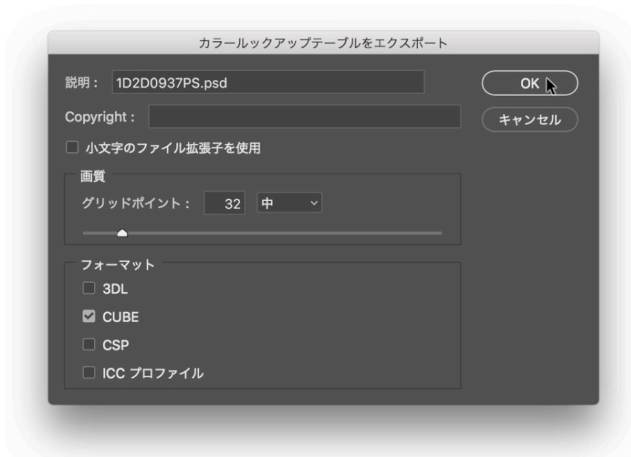
2-6 いったんPSD形式で保存する。

2-7 動画レイヤーを非表示にする。

2-8 ファイル>書き出し>カラーラックアップテーブル（LUT）を選ぶ



2-8 書き出しフォーマットは「CUBE」を選択

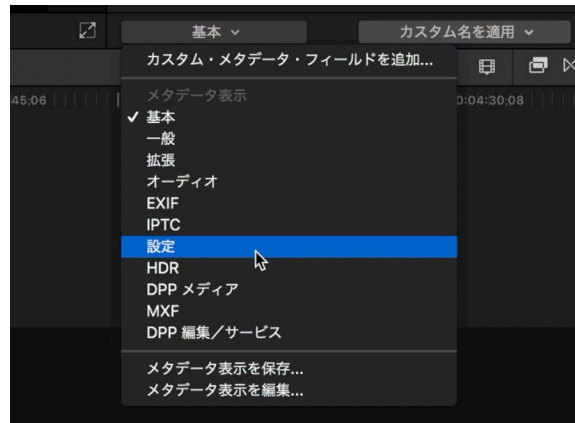
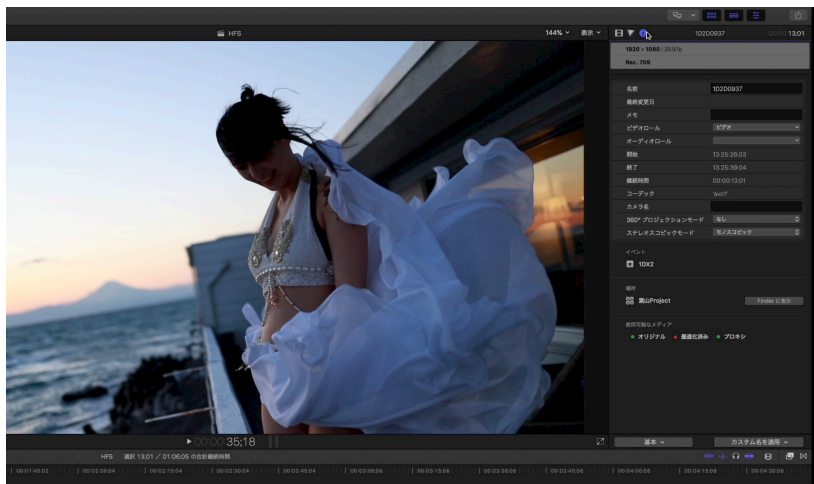


2-9 自分で分かる場所にCUBEファイルを保存。Final Cut Pro Xに戻る。

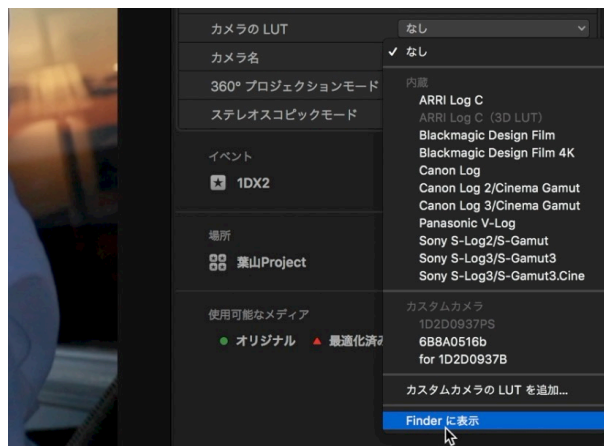
3 Final Cut Pro X で CUBEを読み込み、適用する。

3-1 Final Cut Pro Xのタイムラインで目的のクリップを選択。インスペクタから情報インスペクタを表示

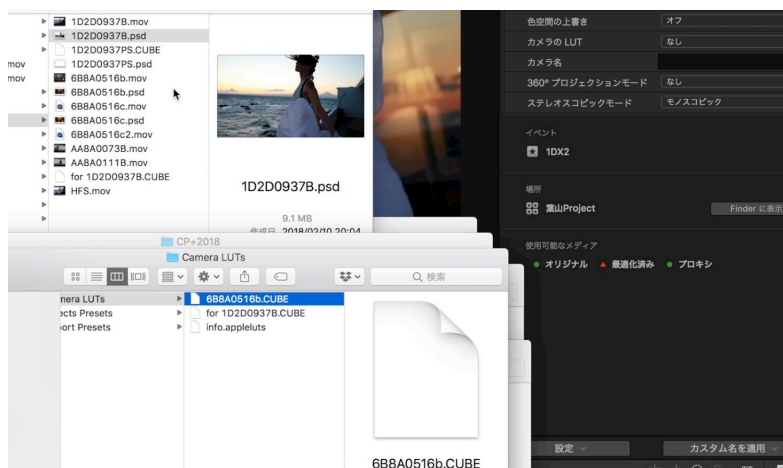
3-2 情報インスペクタ下段のメタデータプルダウン（初期状態では「基本」が表示）から「設定」を選ぶ。



3-3 設定表示からカメラのLUTをプルダウンし、「Finderに表示」を選択。

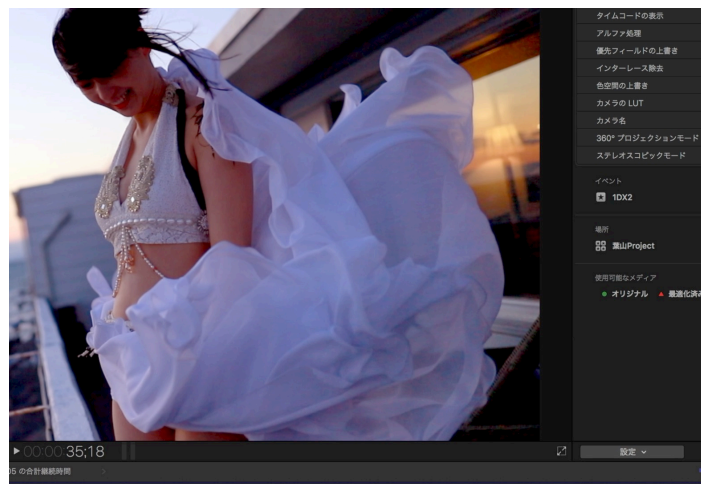


3-4 2-9で保存したCUBEファイルを、「Camera LUT's」にコピーする。

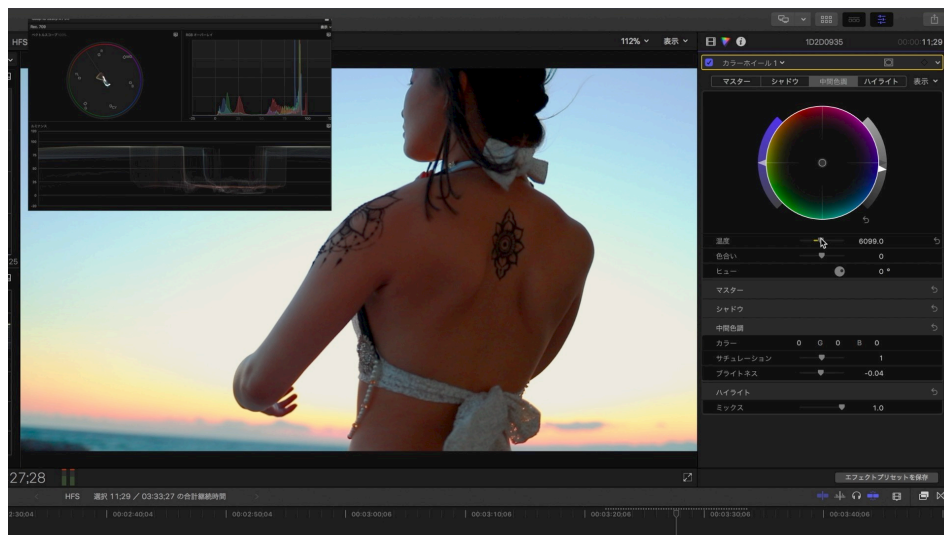




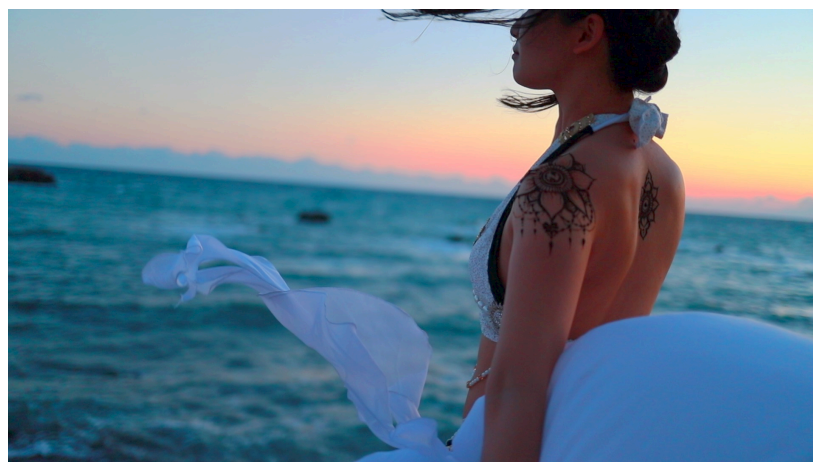
3-5 Final Cut Pro Xに戻り、情報インスペクタ>設定>カメラのLUTから、さきほどコピーしたカスタムLUT（CUBE）を選択。Photoshopの調整レイヤー内容が適用される。



3-6 必要に応じてFinal Cut Pro Xで色味を整える。



3-7 完成。



Movie & Text  
KAZUHIKO SAIKA  
<http://mono-logue.air-nifty.com>

Model  
Kasumi Yamada

MEHNDI Artist  
Yuko Asatani  
<https://ameblo.jp/rucpu/entry-12188632609.html>

Special Thanks/Photographer  
Ryutaro Kataoka

©2018 Kazuhiko SAIKA